



「ロータリーを祝おう」

2004-2005 年度国際ロータリーのテーマ

RI 会長 グレン E. エステス Sr.
第 2640 地区ガバナー 中島治一郎

海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1387 回例会 17 年 2 月 7 日(月)

於 海南商工会議所 4F 18:30 ~

1. 開会点鐘 会長 上中嗣郎
2. ロータリーソング 「奉仕の理想」
3. 国歌斉唱 「君が代」
4. 出席報告
会員総数 69 名 出席者数 48 名 出席免除会員 1 名
出席率 60.5% 前回修正出席率 80.88%

5. 会長スピーチ 会長 上中嗣郎



大寒・そして立春が過ぎてなお残る寒さを余寒というそうです。今月は世界理解月間でございます。

今月のガバナー月信に月山パストガバナーが「世界奉仕月間と国際奉仕」という一文がかかれておりました。要点のみご紹介いたします。世界の現況は、

イラク戦争を始め異教徒や異民族の問題で、激しい憎しみに満ちた争いにより数多くの人命が失われている。発展途上国では水・食料・さらに伝染病による病死・餓死者が 200 万人にも及んでいる現状であります。これらに関して RI は積極的に取り組んできた、特に 20 年前より始められたポリオ撲滅プログラムはロータリアンの多大な労力・資金でその目的達成に近づいています。さらに財団奨学金・平和プログラム・青少年交換など世界社会奉仕や世界親睦活動に素晴らしい貢献をしてきました。今年の RI 会長は「水の問題」を重要テーマに取り上げており、この問題に取り組んでいくよう要請されております。

我がクラブの本年度の国際関係については、WCS のプログラムの関係で今月 10 名の会員がフィリッピンを訪問する予定です。

本日は平尾寧章ガバナーエレクトのアナハイムへの壮行会を予定いたしております・親睦委員の方よりしくお願い申し上げます。

6. 幹事報告

メーキャップ

海南西 RC 2 月 3 日 林 孝次郎君

例会臨時変更

那智勝浦 RC 2 月 17 日(木) 2 月 20 日(日)

9:00 ~ 那智勝浦町役場前

(南の国の雪祭り会場)

ポリオ募金活動の為

休会のお知らせ

和歌山北 RC 2 月 14 日(月)

7. 平尾ガバナーエレクト アナハイム壮行会

激励の言葉

岡田雅晶君

60 歳代は、人生の円熟した時であり、平尾さんはその真ただ中にいる。アナハイム研修には R1 を、遊び心で見て来て頂きたい。2640 地区の為に、自分の為に、元気で行って来て下さい。

他、激励の言葉を頂いた方

宮田敬之佑君、楠部賢計君、宇恵弘純君、塩崎博司君、谷脇良樹君、花田宗弘君、田中文士君、山田耕造君、名手広之君、岩井克次君、林 孝次郎君、上中嗣郎君
平尾ガバナー謝辞

壮行会を開いて頂き誠にありがとうございます。皆様方の激励を胸に、2640 地区、又、当クラブの為にしっかり勉強して参ります。

8. 閉会点鐘

9. 次回例会

第 1388 回例会 平成 17 年 2 月 14 (月)

12:30 ~ 海南商工会議所 4F

高野・熊野世界遺産登録記念 地区大会

開催期日 2005 年 4 月 15 日(金)・16 日(土)・17 日(日)

催場所 新宮市 速玉大社、新宮市民会館

熊野古道(世界遺産探訪・実地研修)



四つのテスト

真実かどうか
みんなに公平か好意と友情を深められるか
みんなのためになるかどうか

事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：上中嗣郎 幹事：岩井克次 SAA：横出 廣

*** ニコニコ・BOX ***

2月お祝い

会員誕生日

2日 新垣 勝君	19日 名手広之君
11日 土井元司君	21日 木地義和君
11日 楠部賢計君	26日 上南雅延君
14日 横出 廣君	

奥様誕生日

7日 奥村 聖様

結婚記念日

3日 早川 満君	14日 谷脇良樹君
3日 吉野 稔君	15日 金川龍一君
4日 平尾寧章君	16日 上野山雅也君
11日 前田洋三君	



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

ロータリーの友

青少年交換学生、タイの津波現場でボランティア活動

D3330(タイ国)への、18歳のジェイコブ ドブス(Jacob Dobbs)君と、他のロータリー青少年交換学生達がクリスマス休暇中に、プケの海岸でキャンプをする計画を立てましたが、地域のロータリークラブがそれを止めたので、ドブス君達はホストファミリーと時を過ごしました。

この計画変更で学生達の命が救われました。12月26日にタイ国のプケ海岸と他の五つの地方を襲った強烈な津波で、多くの外国からの旅行者を含む5,000人を越す人達が溺死し、3,000人以上が行方不明になりました。津波来襲の前にドブス君はタイ国の異なった生活体験をしました。学校の授業が無い時やロータリークラブで話しをする以外は、アメリカ、フロリダ州、ジャクソンヴィル(Jacksonville)生まれのドブス君は、ローカル色豊かな食事を楽しんだり、お祭用の山車作ったり、象に乗るなどして色々な経験をしました。然し、今は、これらの事は何年も前のような感じです。巨大な津波で、突然、人々や物が攪われ、災害の後でドブス君は救助隊隊員として活躍するという経験に引き込まれました。彼は、英語、スペイン語、タイ語の知識を使い、生存者の為に役所が求める旅行書類の整理を助ける事や、ボランティア通訳をしました。更に、彼は、親戚も仕事も家も金も失った地元住民への援助物資配給を助けました。他の海岸で被害の大きかった。カノラクから帰ったばかりのドブス君は津波の前と後での住民の生活の変化の凄まじさを語り、其処では検視報告の翻訳を助けました。ドブス君は、生存者が精神的な傷害に罹っているのに対応すべきであると考えております。建物や海

岸は、容易に修復出来ますが、被害者の心の傷は心に残っております。カノラクの家族や子供達に希望を与えて治療しようと試みました”と、ドブス君が語りました。

プケのトンクカア(Tongkah)クラブのサングアンクナポーン(Sanguan Kunaporn)会長はドブス君の考えに同意し、プケ地区では援助作業で住民を平常に戻すには、長い時間を要し、短期・長期両面の支援計画樹立の為に漁船を失った漁師、家屋対策、親を失った子供達への対策に重点を置き、6クラブの合委員会が過去3週間に数回会議を開きました。クナポーン会長はドブス君を賞賛し、災害発生後にプケとカオラクの被災地でボランティア活動を行い優れたボランティアとして、バンコックのアメリカ大使館にも褒められましたと語りました。D6970(米国、フロリダ州)のアル コールター(Al Kalter)青少年交換委員長は、この事は、昨年7月にドブス君がタイ国へ出発した時には、計画も予想もしていなかった事で、この経験は彼自身ばかりでなく、彼に助けられた多くの人達にとり、真に一生を変えようとする出来事であると思いますと述べました。ドブス君のボランティア活動についての詳しい情報については、次のD6970の青少年交換ウェブサイトをご覧下さい。

<http://www.ryeflorida.org/Students/Outbounds-04-05/dobbs.htm>

プケ支援プロジェクト情報は次のトンクカアRCのサイトを御覧下さい。 <http://www.tongkah.org>

津波罹災者支援は継続的に、RI会長

南アジアの津波災害に世界中のロータリアンが立ち上がりました。オスナブルックで開かれた会長祝賀会議で、ロータリアン誌のジェラルド デカート(Gerald Deckart)編集長が、ロータリーの関与について、グレン エステス Sr. RI会長に意見を尋ねました。

エステス会長は「ロータリーは、このような想像を絶する惨事に対応して、政府や地球規模の支援組織が提供出来るような力を持っておりません。他の災害と同じく、立派な成果を挙げているクラブや地区の努力に頼ります」

「第1に、支援は継続性が必要です。今、現地には多くの支援団体が居ります。ロータリーは長期的観点に立つべきで、私達は半年とか、今から1年間続く必要な事に対してで、例えば、インフラの再建、学校、病院、家屋等です」

「スリランカ、インドネシア、印度、タイ国の復興を支援する為の南アジア援助資金を使用します。更に、支援出来る他の財団プログラムが在りますので、それを使用します」

「既に支援を開始しているロータリアンに対して、その偉大な奉仕に感謝致します」